

□議員名：下瀬俊夫

1 市長の退職金について

論点	5年在職した小泉元首相の退職金は658万円で、「市長などの退職金は高すぎる」と発言して以後、全国で退職金削減の動きがある。
回答	そんな動きについてはよく知らない。市長の退職金削減は寄附行為に当たるので公選法上できないと思う。

論点	北九州市、久留米市、別府市など数多くの自治体で退職金支給条例が廃止されている。退職金条例を改正すれば寄附行為にあたらぬ。
回答	趣旨は理解できる。

論点	白井市長の退職金は1期4年で約2000万円。職員の退職金は大幅減額したが、この退職金のままで市民の理解が得られるのか。
回答	今年は報酬審議会が開かれるので、その決定には従っていく。

2 まちづくりへの市民参画のあり方について

論点	厚狭、埴生の公共施設再編計画など、合併特例債事業でのまちづくりへの市民参画のあり方が、厳しく問われているのではないか。
回答	先日、厚狭地区公共施設再編計画について基本設計ができたので、ワークショップの関係者への説明会を開いたが、厳しく批判された。若干の手違いもあり反省している。今後は各団体などとの協議をすすめ、理解が得られるようにしていきたい。

論点	市の基本計画策定に白紙の段階から、公募した市民が参画している自治体もある。もっと先進的な自治体の研究もすべきではないか。
回答	先進的な自治体への研修も含めて、積極的に対応したい。そのような自治体があればぜひ紹介してほしい。